

滋賀県立高等専門学校 教育課程等の概要（案）

1. 学校の名称

- ・学校の名称：「滋賀県立高等専門学校（Shiga College of Technology）」
- ・当該名称とする理由：
滋賀県に開設する公立の高等専門学校であることを的確に表す名称を使用

2. 学科等の名称

- ・学科の名称：「工学科（Department of Engineering）」
- ・当該名称とする理由：
教育研究の主たる対象が「工学」であることを的確に表すと共に一般的に認知されている名称を使用
- ・コースの名称：
本校では、工学科に異なる専門分野からなる4つの専門コースを設置し、2年次以降、コースに分かれ、専門知識・技術を深めることとする。
なお、コース名称は、各コースにおける教育内容を踏まえた名称としている。

| 専門分野 | コース名（英語表記） |
|--------|---|
| 情報分野 | [コンピュータサイエンスコース] (Computer Science Course) |
| 電気電子分野 | [みらいエレクトロニクスコース] (Future Electronics Course) |
| 機械分野 | [スマート機械コース] (Smart Mechanical Systems Course) |
| 建設分野 | [環境・防災コース] (Environment and Disaster Prevention Course) |

3. 入学定員および収容定員

[入学定員] 120名 [収容定員] 600名

4. 建学の精神および基本理念

建学の精神：「知行合一」

基本理念：

「科学技術に関する専門知識」と「合理的な行動力」の融合により、次代の社会を技術で支える実践力と豊かで幸福なエンジニア人生の基礎を築き、新たな社会課題にも自信をもって立ち向かえる『しなやかでたくましい人材』を育成する。

養成する人材像、3ポリシー、カリキュラムの概要

本校における教育の特色:

高等専門学校は、中学校卒業後の早期から実験・実習重視の専門教育等により実践的な技術者を養成することが特徴である。本校では、さらに以下の4つの特色を重視した教育を行う。

[①工学の他の分野の基礎知識の修得]

[②工学の基盤となる情報技術の活用力と環境的視点の修得]

[③実験・実習の充実による実践力の向上]

[④課題解決の基盤となる力の養成]

アドミッションポリシー (AP)

- 1: 数学や理科などの理数系科目が得意で、中学校における学習内容を十分に理解している人
- 2: ものづくりや科学技術に興味を持ち、新しい知識や技術を自ら進んで学ぼうとする人
- 3: 新しいことに挑戦し社会の発展に貢献したい人
- 4: 実験・実習や学校でのさまざまな活動に周囲と協力して取り組める人

カリキュラムポリシー (CP)

- 1: 理数系の基礎知識と幅広い教養を身につけるため、数学・物理等の理数系科目を低学年に重点的に配置するとともに、国語、英語、社会等の人文社会系科目を各学年に適切に配置する
- 2: 情報技術を専門分野に活用する力を身につけるため、共通する科目として低学年に情報技術の基礎を学ぶ科目を配置するとともに、それぞれの専門コース毎に情報技術を応用する科目を各学年に適切に配置する
- 3: 自然環境との調和や、持続可能な産業の在り方を考える力を身につけるため、共通する科目として、環境に対する理解と配慮について学ぶ科目を配置する
- 4: 幅広い視野で課題解決にあたる力を身につけるため、共通する科目として、すべての専門コースの基礎を学ぶ科目を配置する
- 5: 技術者としての倫理観と社会性を身につけるため、共通する科目として、社会活動や法、技術者倫理等を学ぶ科目を高学年に配置する
- 6: 本校の学修の集大成として、卒業研究等を5年次に配置する
- 7: 2年次より、4つの専門コースから、各自の興味・適性に応じて専門分野を学ぶコースを選択し、それぞれの専門コース毎に専門基礎を学ぶ科目と、専門応用を学ぶ科目を各学年に適切に配置する
- 8: 修得した知識・技術を活かした実践力と、他者と協働して取り組む力を身につけるため、総合科目を各学年に適切に配置する

授業科目の配置計画

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | |
|-------------------------------|---|---|------|----|----|--|
| 一般科目 | 数学・物理・化学 | | | | | |
| | 国語・英語・社会・第二外国語 | | | | | |
| | 保健体育 | | | | | |
| | 芸術 | 総合演習 | | | | |
| 専門共通科目 | 情報系共通科目 | | | | | |
| | 環境系共通科目 | | | | | |
| | 工学基礎共通科目 | | | | | |
| 専門コース科目 | ・工学科に異なる専門分野からなる4つの専門コースを設置し、2年次以降、コースに分かれ、専門知識・技術を深める。 | | | | | |
| | コンピュータサイエンスコース | 情報基礎科目 (プログラミング、論理回路、ソフトウェアエンジニアリング等) | | | | |
| | | クラウド技術科目 (ネットワーク、データベース、モバイルプログラミング等) | | | | |
| | | AI・データサイエンス科目 (確率統計、データサイエンス、人工知能等) | | | | |
| | | 情報総合科目 | | | | |
| | みらいエレクトロニクスコース | 電気電子基礎科目 (電気回路、電子回路、電気磁気学、デジタル回路等) | | | | |
| | | 電力・制御系専門科目 (プログラミング、電気機器、発変電工学、制御システム等) | | | | |
| | | 半導体系専門科目 (電子物性、半導体工学、電気電子材料、センサ工学等) | | | | |
| | | 電気電子総合科目 | | | | |
| | スマート機械コース | 機械基礎科目 (工業力学・機械材料・2D製図等) | | | | |
| | | 力学科目 (材料力学、熱力学、流体力学等) | | | | |
| | | 制御科目 (メカトロ、制御工学等) | | | | |
| | | 機械総合科目 | | | | |
| | 環境・防災コース | 建設基礎科目 (建設材料、構造力学、地盤工学、水理学等) | | | | |
| | | 建設システム科目 (IoT工学、シミュレーション工学、測量、製図等) | | | | |
| | | 環境専門科目 (環境工学、水資源工学、景観工学等) | | | | |
| 防災専門科目 (防災工学、地盤防災、地震防災、河川防災等) | | | | | | |
| 建設総合科目 | | | | | | |
| | インターンシップ | | 卒業研究 | | | |

ディプロマポリシー (DP)

- 1:[基礎と教養]
技術者に必要な理数系の基礎知識と社会人に求められる幅広い教養を身につける
- 2:[情報技術の活用力]
情報技術を工学分野に活用するための基礎力と専門分野に応用できる力を身につける
- 3:[環境に対する理解と配慮]
自然環境との調和と、持続可能な産業の在り方を考える力を身につける
- 4:[倫理観と社会性]
技術者としての倫理観を有し、社会の一員として責任感を持って行動する
- 5:[専門性と実践力]
社会課題に対し、自らの専門分野の知識・技術を中心に、他分野の基礎知識も活かしながら、幅広い視野で解決に取り組む
- 6:[コミュニケーション力と協働性]
他者と進んでコミュニケーションを取り、協力して目標に取り組む

養成する人材像

情報技術の活用や環境に対する理解と配慮を学びの基盤とし、幅広い基礎力・専門性と実践力を兼ね備え、倫理観を持って他者と協働しながら持続可能な産業の発展に取り組める人材

6. 入試制度

(1)入試制度概要

(A) 推薦選抜 (60名/120名)

面接試験等により総合的に評価する選抜方法

(A-1) コース選択型推薦選抜

〔募集人員〕 24名 (各コース6名ずつ)

〔地域制〕 設定しない (県外から受験可)

〔特徴〕 将来像が明確で、コース選択の意思が固い学生確保を目的とし、合格者は二年次以降のコース配属が決定する。

(A-2) 地域限定推薦選抜

〔募集人員〕 36名

〔地域制〕 設定する (県内の中学生のみ受験可)

(B) 一般選抜 (60名/120名)

学力検査等により総合的に評価する選抜方法

〔募集人員〕 60名

〔地域制〕 設定しない (県外から受験可)

※「一般選抜」は「推薦選抜」との併願が可能。

■ 県立高専入試における「女子枠」の設定

滋賀県をはじめ日本の産業を将来に渡って支え続けるには、今以上に女性技術者の育成が必要との考えのもと、入学者に占める女子学生の割合が概ね20～30%となるよう、推薦選抜において女子枠を設定する。

| 入試種別 | 推薦選抜 | | | | 一般選抜 |
|------|------------|------------------|----------|----------------|-------|
| | コース選択型推薦選抜 | | 地域限定推薦選抜 | | |
| 募集枠 | コース選択型推薦枠 | コース選択型女性エンジニア養成枠 | 地域限定推薦枠 | 地域限定女性エンジニア養成枠 | |
| 募集人員 | 合計24人程度 | | 合計36人程度 | | 60人程度 |

※参考：国立高専の学生（本科）に占める女子比率 25.2%（令和7年5月1日現在）

(2)入試スケジュール

| 項目 | R9. 9~11 | 12 | R10. 1 | 2 | 3 | 4 |
|------------------|----------|----|--------|----|---|----|
| 設置認可 入試説明会 | ●→ | | | | | |
| 推薦入試 合格発表（推薦） | | | ●→ | | | |
| 一般入試 合格発表（一般） | | | ●→ | ●→ | | |
| 開校（入学） | | | | | | ●→ |